

## 平成 26 年度 冬季拡大勉強会(冬季セミナー)のご案内 (1 次案)

### テーマ：子どもの「意味理解」を促す理科授業

理科の授業では、「あたためると、空気・水・金属の体積は増える」と、自然の事物・現象と関係する要因とを結びつける指導をします。しかし、その科学的な裏付けとなる意味（理由）については、授業の中で取り上げられることは、なかなかありません。

ところが、本当に追究意欲が高まった子どもは、「あたためると、空気・水・金属の体積が増えるのはなぜか?」と、意味を理解しようとしています。このような意味理解を志向する子どもたちを育てようとするならば、子どもの「意味理解」を促す指導が必要となるでしょう。

夏期講座で末永先生、佐々木先生から主に学習内容の意味を正しく理解させる授業づくりについての提案授業がありました。冬季拡大勉強会では、「子どもの『意味理解』を促す理科授業」について実際の授業づくりを通して考えていきたいと思ひます。

子どもの「意味理解」を促す理科授業とは、どのような授業でしょうか。子どもが意味を理解できる授業とはどのような授業でしょうか。ぜひ、参加者全員で考えてみたいと思ひています。

参加者全員で考える授業づくりの流れ（今年度は3グループに分かれて行ひます）

#### I 問題把握



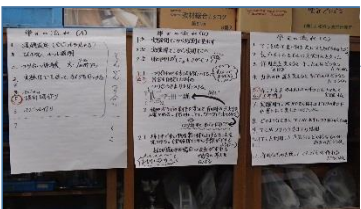
3人の提案者から、それぞれの単元についての問題意識を発表します。そして、「意味理解」を促す授業づくりにするための方策について提案をします。参加者で授業の方向性について検討します。

#### II 教材研究



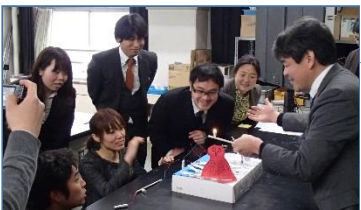
提案者からの問題意識を基に、どのような授業を行えば良いのか教材研究をします。様々な教科書を比較したり、参加者のこれまでの実践を交流したりして内容を詰めていきます。

#### III 指導案作成



教材研究して、単元の流れや本時の展開を考えて指導案を作成します。指導案を作成することで、参加者全員で授業の展開や意図を共有することができます。指導案だけでなく、授業に必要な教材を作成することもあります。

#### IV 模擬授業



作成した指導案に沿って、筑波大学附属小学校の3名の先生が模擬授業を行います。自分たちの作成した指導案を基に、指導力のある筑波大学附属小学校の先生方の模擬授業を見ることができます。

- 1 主催 日本初等理科研究会
- 2 期日 平成26年12月26日(金) 9:00受付 9:30開会 17:00閉会  
27日(土) 8:30受付 9:00開会 12:30閉会
- 3 会場 筑波大学附属小学校 文京区大塚3-29-1
- 4 参加費 会員:3000円 一般:4000円 学生:2000円  
\*事前の申し込みはいりません。
- 5 問い合わせ先 筑波大学附属小学校 日本初等理科研究会事務局 (Tel & FAX 03-3946-1907)
- 6 日程および内容

第1日目 12月26日(金) 10:00~17:00

9:00	9:30	9:45~11:30	昼食	13:00~14:40	14:50~15:50	16:00~17:00
受付	開会行事	参加者全員で考える 授業づくりⅠ (問題把握)		参加者全員で 考える授業づくりⅡ (教材研究)	実践発表	
					大槻峻史 茨城県鹿嶋市立 高松中学校 長沼武志 横浜国立大学付 属横浜小学校	柿沼宏充 埼玉県羽生市立 須影小学校 千葉支部

懇親会 12月26日(金) 全林野会館「桂」17:30~

※参加者全員で作る授業づくりの提案者3名と提案する単元については決まり次第 HPにて告知します。  
※実践発表の学年、単元、テーマについても確認ができ次第 HPにて告知します。

第2日目 12月27日(土) 9:00~12:30

8:30	9:00~10:30	10:40~12:15	12:15
受付	参加者全員で考える授業づくりⅢ (指導案作成)	参加者全員で考える授業づくりⅣ (模擬授業)	閉会行事

【昨年度の様子】



実際に、実験をしながら  
教材研究を行いました。



同じ単元でも、教科書を比較  
すると扱いが違っていました。



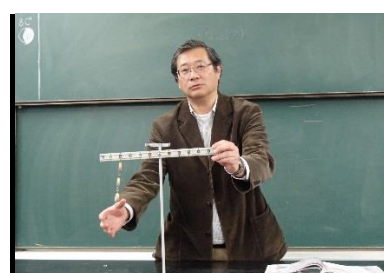
初日が終わった後の懇親会では  
全国の仲間と交流しました。



授業で使う教材づくりを  
しました。



筑波大学附属小学校鷲見先生による3年「磁石の性質」の授業。



筑波大学附属小学校森田先生による6年「てこの働き」の授業。